

センパイの声

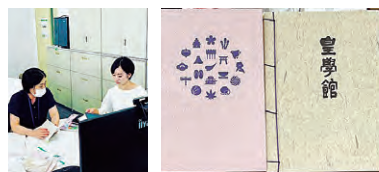
CLL 活動で活躍する、センパイの体験談をご紹介します。

皇學館大学オリジナルグッズ制作プロジェクト オリジナル商品の企画を一から経験！ グッズ販売を通して皇學館の魅力を届けています

本プロジェクトでは、皇學館オリジナルのグッズを企画するだけでなく、入学式や卒業式といった学内行事での販売も行っています。学生時代に商品企画に携わるのは貴重な経験です。嬉しかったのは、自分で企画した商品がお客様の手に届いたときです。今後は、皇學館の学生のみならず、卒業生や地域の方にも周知していきます！



松野 笙子さん
現代日本社会学部
現代日本社会学科



左：デザイン案の打ち合わせをしている様子
右：伊勢和紙でできた商品

リニアインパクト最大化プロジェクト リニア開業効果を最大限に活かすべく 対話力を身に付け、リーダーシップを学びました

県庁や県民の方々と関わる機会が多く、資料作成や会議の進め方、コミュニケーション能力を身に付けられたとともに、リーダーを務めたことで人前で話すことにも慣れ、とても多くのことを学ぶことができました。今後は後輩を支えつつ、リニア開業効果の最大化に向け、引き続きさまざまな活動をしていきます。



大西 侑里さん
現代日本社会学部
現代日本社会学科



左：リニア模型を制作
右：学内でのミーティング

鳥羽なかまち（仲間ち）で地域活性化に取り組もう！ 地域課題解決のポイントは協力と支え合い。 さまざまな声に耳を傾け、地域活性化を推進しました

私は鳥羽なかまちという地区でなかまちの方々と協力しながら地区内でのイベントでスタッフとしてサポートをしたり、なかまちの魅力発信を目的としたものづくりなどを行っています。この活動を通して、地域課題の解決に向けて1人で考えるのではなく、皆と協力し合うことでさらに良い経験と結果が出せることを学びました。



三好 ともるさん
現代日本社会学部
現代日本社会学科



左：地域の魅力を発信するための制作作業
右：クイズラリーイベント後の餅つき会

「Gift of Ise」プロデュースプロジェクト 伊勢の特色を表す返礼品を考案！ 企画力やふるさと納税の知識も修得できました

「伊勢らしいギフト」をコンセプトに皇學館オリジナルばんじゅうを、伊勢市のふるさと納税返礼品としてプロデュースしました。この活動を通して、ふるさと納税の仕組みや商品を販売するための考え方を学ぶことができました。今後は伊勢の隠れた銘菓の魅力を発見し、広げていきたいです。



中村 うたきさん
文学部
国史学科



左：プロデュースしたオリジナルばんじゅう
右：ふるさと納税返礼品の発送準備

皇學館大学
未来へつなぐ日本のこころ

【問い合わせ先】

教育開発センター 地域課題学修支援室 企画部 地域連携推進室

TEL 0596-22-8542 TEL 0596-22-8635 〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704

<https://www.kogakkan-u.ac.jp>



皇學館 COC 検索
機種によっては読み取れない場合があります。
皇學館大学公式サイトCOCページ



Instagram

三重創生ファンタジスタ
文部科学省
地(知)の拠点



皇學館大学 CLL 活動

KOGAKKAN UNIVERSITY

Coll activity

Forming vigorous,
sustainable regional communities.

「伊勢志摩定住自立圏共生学」教育プログラムによる地域人材育成

持続可能で活力ある地域の形成は、三重県南勢エリアに位置する本学にとって喫緊の課題です。本学がこの伊勢志摩圏域における地域社会システム再構築のための拠点となるとともに、圏域の未来を担う有為な人材の育成に責任を持つことが求められています。



CLL 活動とは？

CLL (Community Learning Labo) 活動は、伊勢志摩定住自立圏を中心とする三重県内の地域課題について体験を通して学ぶ学修プログラムです。大学の講義だけでなく、現地でさまざまな体験を通して感じ、考え、話し合ったりすることで、多くのことを学ぶことができます。平成27年のスタートから、延べ1800名を超える学生が現地で多くのことを学びました。

CLL 活動の3つの目的

1. 地域の課題に学生・大学が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
2. 学生が地域活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
3. 大学と地域が協働して、「伊勢志摩定住自立圏」を中心としながら、新たに人や地域がつながる仕組みをつくる。

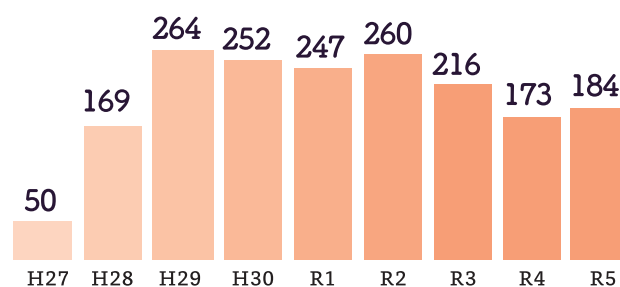
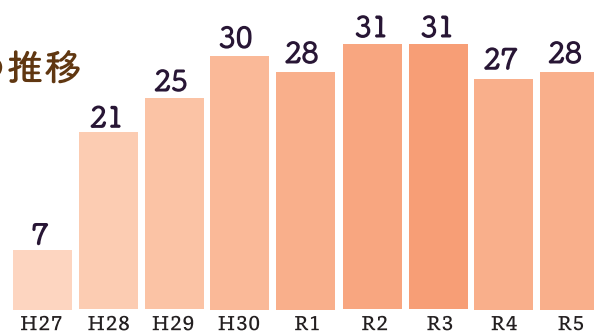
CLL 活動の流れ



データから見る皇學館大学 CLL 活動

活動数の推移

(件)



参加人数の推移 (名: 延べ人数)

CLL 活動

PICK UP



Pick UP

フードロスをなくせ！いちごスイーツプロジェクト

【伊勢農業協同組合 (JA 伊勢)】

伊勢の規格外いちご「かおり野」を使用したスイーツの試作・販売を通じて、楽しみながらフードロス削減に貢献することができるプロジェクトです。レシピの提案やデコレーションなどのスイーツ作りはもちろん、パッケージやチラシのデザイン、店頭販売など、企画から販売までの工程全てを学生メンバーおよび JA 職員が考案。一人ひとりの得意分野を活かしながら、参加者全員がさまざまな形で商品開発に携われるのが魅力の一つです。活動では会議や試作を重ね、商品の原価や販売価格、トレンドや客層なども考慮しながら商品を決断。商品開発のプロセスを一から学べるほか、互いに協力しながらプロジェクトを遂行するスキルを修得できます。



プロジェクトのロゴマーク



開発した商品

イベントへの出店

学生のみなさんへ

実施主体ご担当者様

大事なのは失敗を恐れずに挑戦し続けること。時には第三者目線を持ち、物事を批判的に考えることも必要です。一つひとつの選択にしっかりと根拠を持てるようになれば、より良い商品作りにつながります。

大学生による「大学生向けごみ分別啓発活動！」

【伊勢市環境生活部ごみ減量課】

Pick UP



様々なイベントで啓発活動を実施

CATV 特集の撮影

学生のみなさんへ

実施主体ご担当者様

多岐にわたる取り組みを通し、活動の理由や目的を深いところまで理解していただきました。ゴミ分別マニュアルや CATV 特集の映像など、情報として残った活動の形を成果とし、就職活動等でぜひご活用ください。

伊勢市内の大学生世帯を中心としたごみ分別不徹底の現状改善を目標に掲げ、大学生向けにごみ分別の啓発を行う CLL 活動です。最初に参加者全員でごみ分別の重要性や現状と課題を具体的に学習。ごみの量の削減を目指す伊勢市役所ごみ減量課との協力体制のもと、伊勢市が以前より取り組んでいる啓発活動を参考にしながら「新一年生へのごみ分別啓発」や「倉陵祭における啓発」「CATV 特集」、「保育園への出前授業」、「伊勢市のごみ分別マニュアルの修正」など、さまざまな活動を実施します。学生それぞれが自ら動き、考えることで、学生主体の活動計画提案や企画運営を完遂。プロジェクトを通じて確かな主体性が身に付きます。

活動内容は HP、Instagram でチェック！

HP▶



Instagram▶



延べ活動時間 (平成 28 年度～令和 5 年度)

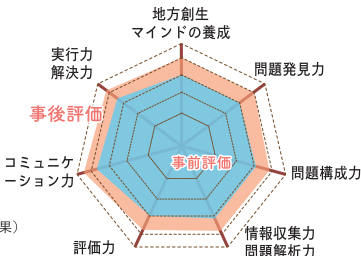
23,773 時間

連携市町 (伊勢志摩定住自立圏)

3市5町
(令和 5 年度)

四日市市
名張市
東紀州地域 (熊野市及び御浜町)
で活動を展開

すべての評価項目で
自己評価が活動前よりも上昇



Q. キャンパスで学べないことを体験できたと思う。 Yes 100%

Q. CLL 活動は地域の人と大学生をつなぐ仕組みとして機能していると思う。 Yes 99%

Q. 参加したことで、伊勢志摩地域の地域課題などに新たな関心・興味が生まれましたか？ (そう思う+ややそう思う合計人数) Yes 92%